

1. 事業の目的

あしなが育英会は、保護者（父または母など）が病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または著しい障害を負っている家庭の子どもたちに奨学金を交付して、進学援助を行うと共に教育指導と心のケアを行い、もって「暖かい心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備え人類社会に貢献する人材を育成することを目的としています。

2. 設立のいきさつ

あしなが育英会は、同じ境遇の遺児たちによる街頭募金などの“汗”と、市民のあたたかい“心”によって発足しました。1984年、街頭募金やあしながさん（継続的なご寄付者）の支援によって進学できた交通遺児たちは、「恩返し運動」で災害遺児育英運動を開始し、1988年から「災害遺児の高校進学をすすめる会」による奨学金制度を発足させました。

さらに、進学できた災害遺児が中心となり、病気遺児たちの奨学金制度づくりに取り組み、1992年4月に「病気遺児の高校進学を支援する会」による奨学金制度が発足しました。1993年4月、両会は合併し新しく「あしなが育英会」（玉井義臣会長）としてスタートしました。これによりすべての遺児（交通遺児は、交通遺児育英会を利用）の育英制度が整うこととなりました。

2018年4月より発足以来初めての奨学金給付制度を開始し、2019年4月からは事業拡大に伴い「任意団体」から「一般財団法人」へ移行しました。

3. 実績等

1988年4月以来32年間で4万9千人に累計547億円の奨学金を交付しました。

2019年度は新規に高等学校・高等専門学校生1,755人、大学生915人、専修・各種学校生383人、大学院生28人の計3,081人を奨学生として採用しました。奨学生数は前年から615人増加し、年間で6,551人に約48億円の奨学金を交付しました。（2020年2月10日現在）。

奨学金の他に、神戸、東京、仙台、石巻、陸前高田の「レインボーハウス（虹の家）」では、小中学生の遺児や保護者に対する心のケア活動を実施。夏休みの「奨学生のつどい」では、高校生、大学生、専門学校生らに対する教育事業を行っています。

また、学生寮「あしなが心塾」（東京都日野市）と「虹の心塾」（兵庫県神戸市）を運営しています。生活困窮世帯の遺児でも大学進学できるよう、朝夕食付で寮費は1万円です。

4. 奨学生の種類・月額・募集人数＝2020年度

奨学生の種類		月額	募集人数
高等学校奨学生 (高専1～3年生を含む)	国公立	4万5千円(内 貸与2万5千円・給付2万円)	予約(中3生) 1,500人
	私立	5万円(内 貸与3万円・給付2万円)	在学(全学年) 650人
大学奨学生 (短期大学を含む)	一般	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 600人
	特別	8万円(内 貸与5万円・給付3万円)	在学(全学年) 500人
専修・各種学校奨学生 (高専4,5年生を含む)	一律	7万円(内 貸与4万円・給付3万円)	予約(高3生) 130人 在学(全学年) 80人
大学院奨学生	一律	12万円(内 貸与8万円・給付4万円)	(前・後期1年生) 35人

※私立高校入学一時金(貸与30万円)・・・高校奨学生予約採用者対象(300人)

※私立大学入学一時金(貸与40万円)・・・大学奨学生予約採用者対象(170人)

※進学仕度一時金(40万円)・・・進学予定の高校奨学生3年生対象に貸与(450人)